

## 「脳血管疾患急性期における作業療法と転帰に関する後方視的観察研究」

### — 急性期作業療法データベースを用いた検討 —

当院では以下の臨床研究を行っております。

#### 【研究課題】

脳血管疾患急性期における作業療法と転帰に関する後方視的観察研究

### — 急性期作業療法データベースを用いた検討 —

#### 【研究の背景と目的】

作業療法において、急性期からの介入が ADL 能力や退院先に影響を及ぼす可能性が示唆されているが、介入開始時期や介入内容と転帰との関連については、施設ごとの実態を踏まえた客観的データの蓄積が十分とは言えない。当院では介入内容や評価、転帰を体系的に集積・分析できるデータベースが整備されていない。そのため、作業療法の役割や効果を客観的に示すことが困難である。本研究では、脳血管疾患急性期に作業療法が介入した症例を対象としたデータベースを構築し、当院における急性期作業療法の実態および転帰との関連を明らかにすることで、急性期作業療法の質向上および今後の研究基盤整備に資することを目的とする。

#### 【研究の期間】

倫理委員会承認後～ 2031 年 3 月 31 日

#### 【研究対象】

当院急性期病棟に入院し、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血患者に対して作業療法が介入された症例。

#### 【研究方法】

診療録およびリハビリテーション記録から以下の情報を収集する。

- ・ 基本情報（年齢、性別、入院前 ADL）
- ・ 医学的情報（診断名、病変側、発症日、入院日、リハ開始日、退院日、退院先）
- ・ 精神機能（意識レベル、高次脳機能障害、認知機能評価）
- ・ 身体機能（運動麻痺、感覚障害、失調、筋力、麻痺側上肢使用状況）
- ・ 日常生活機能
- ・ 作業療法介入内容（作業療法実施日数、日平均介入単位）

**【個人情報の取扱い】**

収集した情報は、匿名化（符号化）したうえで管理します。研究終了後も、個人を特定できる情報は外部に提供しません。

**【予想される利益、不利益】**

本研究への参加によって、対象者個人が直接的な利益を得ることはありません。一方で、本研究により得られた知見は、急性期脳血管疾患に対する作業療法のあり方や転帰との関連を明らかにすることにつながり、将来的には急性期作業療法の質向上や医療体制の改善に寄与する可能性があります。

既存の診療情報のみを用いるため、対象者に新たな身体的・精神的負担は生じません。診療情報を用いることによる個人情報漏えいのリスクが考えられますが、収集したデータは匿名化を行い、厳重に管理し、リスクを最小限に抑えます。

**【研究協力への自由】**

本研究への情報利用は任意です。ご自身の診療情報が本研究に利用されることを希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

同意撤回可能期間：2031年4月30日まで

**【利益相反について】**

本研究に開示すべき利益相反はありません。

**【研究責任者連絡先】**

総合病院土浦協同病院

リハビリテーション部 山中真吾

電話：029-830-3711（代表）